

澄川都市環境林 右精進川水質調査

実施日: 2025年 7月 18日 (金)

天気: <もり後雨

前日の天気: 晴れ

調査員: 榎棒、加藤、老田、平、二郷、本郷(記録者)、酒巻さん(水生生物同定)

		地点0 最下流	地点2 キャリコ橋	地点4 上流	参考(源流部)		
気温(°C) (測定時刻)	温度計No.1	25.5(11:11)	25.7(9:47)	25.8(10:20)			
	温度計No.2	25.7(11:11)	25.6(9:47)	26.6(10:20)			
水温(°C) (測定時刻)	温度計No.1	19.7(11:12)	18.3(9:48)	13.2(10:22)			
	温度計No.2	19.5(11:13)	18.6(9:48)	13.7(10:22)			
電気伝導度 (μ S/cm)		336	140	564	623		
pH		6.2	7.4	6.5	5.8		
流量 (m ³ /sec)	流速(m/sec)	0.16	0.16	0.45		流速測定のための流下時間はピンポン玉を浮かべて計測	
	断面積(m ²)	0.115	0.09	0.028			
	流量 =流速×断面積	0.018	0.014	0.012			
	川幅(m)	1.80	1.20	0.90			
	水深(m)	0.10	0.12	0.05			
水生生物 目視確認&顕微鏡検査		カワトンボ科 1 サナエトンボ科 ダビドサナエ属 4 カワニナ科カワニナ 6	コカゲロウ科 1 ヒラタカゲロウ科 1 ヤンマ科 1 サナエトンボ科 ダビドサナエ属 18 ユスリカ科 (その他:腹臍なし) 1 カワニナ科カワニナ 9 アメンボ科 アメンボ(幼虫) 5	コカゲロウ科 4 ガガンボ科 3 ブユ科 7 ユスリカ科 9 センブリ科 センブリ 2		採取方法 Dネット使用。ネット上流側の川底を蹴り流れ出した生物と、手で起こした石の表面から採取した生物をネットにとる。 上記の採取を1分間行い、異なった場所でも採取作業を3回繰り返し返した。1回ごとにネットに入った試料を白いバットに移した	
	出現科数	3	5	4			7.5以上 とても良好 6.0以上7.5未満 良好 5.0以上6.0未満 やや良好 5.0未満 良好とはいえない
	総スコア	21	36	27			
	平均スコア	7	7.2	6.8			
	バクテスタ (mg/L)	りん酸態りん	0.05	0.05	0.02		0.02
COD		8以上	8以上	8以上	6	0~5が望ましい	
亜硝酸態窒素		0.005	0.005	0.005	0.005	通常0.02以下	
硝酸態窒素		0.5	0.2	0.2	0.2	通常1~2前後	
補正値 (硝酸態窒素-亜硝酸態窒素×8)		0.46	0.16	0.16	0.16		
アンモニウム態窒素		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2未満はきれい	
環境観察	鉄	0.5	0.5	0.2	5		
	川底の状態	砂	砂、石(5月より少なめ)	砂、小石		噴出し口の位置が移動 小さな噴出し口が散見された 前回5月から大きさが変わらないクレスン	
	水のにごり、におい等	にごりなし、かすかな異臭	にごり、におい無し	にごり、におい無し			
その他、目にした り、聞こえるもの及び 気の付いたこと等を記入	川幅が狭くなっている(川底が表出)箇所あり	砂の粒子がいつもより大きい泥が少ない	見える範囲赤褐色 川底にある藻すくない 下流に向かって左手にドクダミの白い花 川に下る道端に花後のパニバナイチヤクソウ				